②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

	団体名	事業名	事業内容・成果	助成額	ありがとうメッセージ
1	地域文芸部なかの実行委員会	地域文芸活動による交流と居場所作り事業	作品集には収録できなかったが、2024年に中野に引っ越していらした、初老の女性が参加してくださり、東中野という町のことを不安と共に書いてくださったのが、印象的で、初めて中野の地域活動に参加したとおっしゃっていて、印象的であった。地域文芸部をやりたいという方もおり、2年後の活動につなげたい。	200,000	実行委員として活動して一年という時期に、本助成金があり、かなり自由度の高い活動をすることができました。 この成果をさらに区民の皆様に広げられるように努力して参ります。
2	社会医療法人社団　健友会	オレンジカフェきょうりつ	認知症当事者、独居の高齢者をはじめ、さまざまな方に参加いただいた。認知症の治療や介護サービスの手続きで不安を感じている方の相談にスタッフが応じるなど、支援に関わるプレコンタクトやアイスブレイクの役割を発揮できた。その後も参加を通じて、見守りや相談などの緩やかな支援や関わりを維持、継続している。 歌のコーナーでは、参加者の世代に合わせてフォークソングを取り上げたところ、戦中、戦後を回想し、地域福祉を学ぶ若い世代の参加者ざっくばらんに意見交換する交流もできた。	180,000	高齢者や独居世帯が増える中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、オレンジカフェ（認知症カフェ）を定期的に開催しています。 参加者の楽しい交流はもちろん、治療や介護の悩みや不安を抱える方の相談や支援につながる場でもあり、地域の方々に知られるようになってきました。 募金をしてくださったみなさまには心より感謝を申し上げますとともに、共生社会を一緒に築いていけるよう、今後も努めてまいります。
3	あしゅみくり	大型バスを貸し切って「こどもの国」に遠足に行こう！	雪印こどもの国牧場のご協力により、バターづくりや搾乳体験、工場見学を実施。子どもたちは初めて触れる体験に目を輝かせ、保護者からも「普段できない貴重な体験」と好評でした。親子で協力して取り組む姿や笑顔が多く見られ、記憶に残る一日となりました。	200,000	この度は、ひとり親家庭の乳幼児親子を対象とした体験機会創出の取り組みに対し、温かいご寄付とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。 皆さまからのご厚意により、大型バスでの外出企画を実現することができ、普段は遠出が難しいご家庭の親子が安心して参加できる貴重な機会となりました。 当日は自然豊かな環境の中で、子どもたちが思いきり体を動かし、親子で笑顔あふれる時間を過ごすことができました。 「初めての体験でとても嬉しい」「親子で良い思い出が出来た」といった声も多く寄せられ、体験格差の解消に向けた大きな一歩となりました。皆さまのご支援が、子どもたちの未来の豊かな経験へとつながっております。 今後も継続して、多くの親子にこうした機会を届けてまいります。 改めまして、心より感謝申し上げます。
		あつまれ！はたらくくるま	雨天により規模を縮小し、車両展示は叶いませんでしたが、室内での交流や企画を実施。来場親子からは「少しでも参加できて嬉しい」との声が寄せられ、地域交流の場としての価値を実感しました。	200,000	「あつまれ！はたらくくるま」開催にあたり、貴重な助成金を賜り、誠にありがとうございました。 本助成により、普段間近で触れる機会の少ない多種多様なはたらくくるまを一堂に集め、乳幼児親子が安全かつ安心して楽しめる環境を整備することが可能となりました。 事前の広報や参加者募集においても大きな反響があり、約1000名の来場予定となるなど、多くのご家庭から期待のお声をいただいておりました。 当日はあいにくの天候により超小規模に縮小しての開催という結果になりましたが、企画内容自体に対しては、「ぜひ次回も開催してほしい」「子どもに貴重な体験をさせたかった」といった声が多数寄せられ、本事業の意義とニーズの高さを強く実感いたしました。 本助成があったからこそ実現できた企画であり、地域の親子に新たな体験機会を提供できたことに、心より感謝申し上げます。今後も本事業の実現に向けて尽力してまいります。 改めまして、温かいご支援に深く御礼申し上げます。
4	えほんぶ	みんなの音楽会	1. 音楽会を通して知らない人同士の交流の場ができた。 2. 小さいお子様から大人まで区別せず楽しむ事ができた。 3. プロの演奏を見て、勉強できる機会を作れた。	55,000	募金をしてくださった方々、本島にありがとうございました。 えほんぶでは「みんなの音楽会」と題してみんなで作る音楽会を開催することができました。 楽器はあるけどなかなか発表する場がない方や、自信のない方も一緒に楽しめました。
5	中野区中途失聴・難聴者の会	中途失聴・難聴者コミュニケーション事業	聞こえないことを他人と比較し、できないことばかり考えていたような人が、この事業内で同じように聞こえにくい方と出会い、できないことを考えてばかりいると不幸になると気づきを得た、と障害の受容に踏み出してくれました。自分の生涯を受け止めるには、時間がかかりますが、手助けになれば幸いです。	155,000	人生の途中で聞こえにくくなったり完全失聴したりしたため、周囲とのコミュニケーションから分断されている中途失聴・難聴者のための会です。 助成金のおかげで、区民や関係者向けに啓発講演会実施や、パンフ等の情報提供、コミュニケーション学習会等が実施できました。心よりお礼申し上げます。

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

6	特定非営利活動法人文楽舎 みんなのよりば	金のばんさん事業（夕食提供）	本事業を通じて、地域には子どもの孤立や居場所不足、孤食や不安定な食生活といった課題が潜在的に存在していることが明らかとなりました。 その背景には、表面化しにくい「見えない孤立」があり、海外にルーツを持つことや生活困窮が遠因となり、地域とのつながりが希薄になっているといった複合的な課題も見受けられました。 これらの課題に対し、いつでも（毎日）、気軽に（無料で）立ち寄ることのできる「食を通じた居場所」の存在が、支援への入口として重要な役割を果たしていることが確認されました。 最初はは部屋の隅で一人になっていた子どもが、自分から話しかけるようになり、食事の時間になると自然と輪の中に入り、夕食の日には「みんなで食べる日だから楽しみ」と早い時間から来舎するようになりました。 ほとんどの子どもに、食事中の会話が生まれ、笑顔が増えたことで、食事の時間は単に空腹を満たす時間ではなくなりました。 毎日の軽食提供と週1回の夕食提供を通じて、子どもたちが安心して過ごせる居場所が形成され、孤食の解消と生活の安定につながりました、また、食をきっかけとした交流により社会性や自己肯定感が育まれ、さらに保護者との関係構築や多文化理解の促進といった成果も確認されました。	200,000	私たちは300回に及ぶ毎日の軽食と週1回の夕食（57回：2025年度）提供を実施することで、子どもたちが安心して過ごせる居場所の基盤を安定的に確保することができました。 このうち皆様からお寄せいただいた温かいご支援により、夕食を継続的に提供することができました。子どもたちが安心して過ごし、「ここにいていい」と笑顔で集える場を支えていただいたことに、心より感謝申し上げます。 今後も地域に根ざした活動を続けてまいります。
7	おさんぽかふぇドーナッツ	おさんぽかふぇドーナッツ	・「出来る時だけサポーター」を募集していたところ、参加者の中から「子どもが幼稚園に入園してからも参加したい。」という保護者がおり、サポーターとしてご活躍いただけるようになった。 ・参加者同士がつながり新たな団体が立ち上がったため、一部運営のサポート、アドバイスをした。 ・親子で参加している方が子どもの預け先を探されていると相談があり、情報提供、区の子育て相談を通じ、ショートステイ協力家庭の利用に繋がった。	90,000	助成金のおかげで、地域で活動している方に、工作、お料理、ヨガ、ハンドリフレ、バルーン等、講座の講師として依頼出来、子育て中の親子同士、地域の人同士のつながりづくりのお手伝いが出来ました。本当に感謝しています。ありがとうございました。
8	社会福祉法人 中野区福祉サービス事業団 小淀ホーム	スマイルcafé	スマイルcaféでは、お茶を飲み、お菓子をつまみながら参加者同士で歓談する姿が見られました。 また、自宅ではお喋りしたり身体を動かしたりする機会がなかった方々が、このスマイルcaféに参加することで普段とは違った雰囲気の中で様々なプログラムを一緒に楽しんでいらっしゃいました。 また、9月に行われたRUN伴なかの（認知症啓蒙活動）にも参加し、地域住民の皆さんと交流したり、認知症や介護の事について学ぶ機会も持つこともできました。 今回、更にスマイルcafé参加者を増やすためにリーフレットの作成を行うこととしましたが、職員の意見だけでなく、スマイルcafe参加者のご意見をいただきながら完成させることができました。	130,000	コロナ禍の際には、小淀スマイルcaféも一時休止せざるを得ませんでしたが、今年度から全面的に再開し、改めて地域住民同士や職員が交流出来る場の大切さを痛感しました。 今回、助成金を活用してスマイルcaféの活動の充実が図られ、新たにパンフレットを作成することができました。 今後も、より多くの地域住民の皆様に参加していただける楽しいcaféを目指していきます！
		小淀祭（地域住民参加型　納涼祭）	日中に行われた屋台やゲームには、近隣にお住まいの高齢者・子連れのご夫婦・小学生・中学生等多くの方が訪れ、その中で職員やボランティアさんとの交流を深めたり、地域住民同士でお話する場面も見受けられた。また、近隣のグループホームの入居者・職員さんも参加してくれたことで、今後も相互の交流を進めていこうとの話にもなりました。夕方には花火大会も行われ、多くの子供達や親御さんも参加していただきました。 今回、炎天下での開催で参加者の体調も心配されましたが、今回の助成金を利用して暑さ対策の備品等を導入することができたおかげで、参加者も職員も体調を崩すこともなく、お祭りを楽しむことができました。また、去年は花火大会で準備した手持ち花火等の数が足りず、地域の方々が花火を楽しむ機会が少なかったのですが、こちらも助成金を活用して花火の購入量を増やしたことで、今回は実施時間を延ばし、参加者全員が楽しんでいただけました。	200,000	炎天下で開催された「小淀祭」でしたが、助成金を活用して暑さ対策も万全にして皆様をお迎えすることができました。 また、屋台・ゲーム・花火大会の内容も昨年より充実させることができたおかげで、地域住民の方々にも多く参加いただき、ご利用者・職員だけでなく住民の皆さん同士が交流できる場となりました。ありがとうございました！
9	更生保護法人　東京都更生保護協会 敬和園	敬和園フェスティバル	敬和園は、中野区で一施設のみの更生保護施設であります。特殊な施設であるがゆえに地域理解はなかなか難かしいところであります。この事業により地域の方に更生保護施設の役割は知ってもらえました。 余興の演芸も盛況で30数名のお客様が来園し、楽しんでいただきました。	100,000	敬和園は、中野区で唯一の更生保護施設であります。 特殊な施設であるがゆえ今回の事業を実施したことで地域の方に更生保護施設の役割と理解、また災害時には地域の役に立てる施設をアピール出来たことに感謝しております。 ありがとうございました。
10	みまもる会	冥土（メイド）カフェ	おひとり暮らしの高齢者の方に外に出で頂く、そしてその場で認知症マフを作る人と交流を目的にしていましたが、想像以上に男性は参加して頂けませんでした。ボタン付けサービスや甘酒、新聞を読めるコーナー等も作りました。	143,962	ひとつなぎ助成金ありがとうございました。 お陰様でオレンジカフェ、冥土カフェも地域の人々の参加を頂き、楽しく活動ができました。 年間計画を立て様々取り組んで来ることが出来たのですが、冥土カフェの方は参加者が少なく少し残念でしたが、認知症予防、孤立・孤独を防ぐ活動に取り組むことが出来、皆さんの笑顔が見られたことは、一重に募金をして頂いた区民の皆様のお陰です。感謝します。
		オレンジカフェ　ほっとカフェ広町	・毎回来てくださる方が会場の片付けを手伝ってくれるようになり、地域の1つのいごこちのよい場所になりつつある。 ・情報を伝わるようにラインや直接TELをかける、玄関まで迎えに行く等して参加者を増やせるようにしている。 ・包括センターの職員の方々も時々、顔を出して頂けるので、地域の方々も安心して参加して下さいます。	200,000	

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

11	にこにこ茶屋 Whole life nico茶屋	にこにこランチ食堂	地域の皆さんがともにランチする機会を喜んでくださり、会話と食事を楽しんできてくださる方が増えています。 親子、時には子どもさんだけの参加もあり、友達同士で楽しく食事をしていてほほえましいです。ひとり暮らしの高齢者の方も参加されています。常連の方もいて地域の輪が少しづつ広がってきています。	200,000	活動助成金をいただき「にこにこ茶屋」は、企画メニューをランチ食堂、オレンジカフェ、うたごえひろば。ウォーキングと広げることができました。 「地域の中で声をかけあえる友だちが増えた」「誰とも話すことがない日が続くときもあったのににこにこ企画に参加することで外に出るようになった。」などの声をいただいています。 地域ボランティアの私たちも活動助成あっての活動です。 心より感謝申し上げます。
		にこにこオレンジカフェ	オレンジカフェは毎月2回行い、内一回は行政の力も借りて有益な情報の勉強会をしていて大変好評です。 オレンジカフェは絵本の読み聞かせ、ハモニカ演奏もそれを楽しみに来てくださる方もいます。 うたひろばピアノ演奏はプロの方にお願いし、毎月常連の方も増え、定着してきています。犬同伴も可でうたひろばならでは気楽な場となっています。 また、月二回のウオーキングはおしゃべりしながらの70分交流の場です。誰でも来れる場所として孤立しない地域づくりが始まっています。特に文化・健康をアプローチにして気軽さが喜ばれています。	200,000	
12	地域家族会　中野わの会	ひきこもり家族が孤立せず、つながり学び合う家族会	勉強会や相談会で専門家からの助言を通して、親たちは新たな気づきや知識を得て、子どもへの理解を深めることができました。又、同じ悩みを持つ仲間と出会い、孤立せず支え合えるつながりが生まれています。	90,000	ひきこもりや不登校の子を持つ親は不安や孤独を抱えています。私達は同じ思いを持つ親同士が出会い、語り合い、学び合える場づくりを続けています。 皆様からの募金は親たちが前を向くための大きな支えとなっております。 これからも地域の中で支え合いの輪を広げてまいります。 心より感謝申し上げます。
13	一般社団法人　上鷺テラス	ケアラーズcafé　なごみ亭	現在、介護を行っている方、介護経験をお持ちの方、地域の福祉施設のケースワーカー等、様々な方々の交流、意見交換、情報交換の場とすることができた。皆さん介護の苦労を話し合うことで、孤立しがちな心境を知ることができた。月一回の集い以外にもメンバーが集まるなど、互いにきずなが生まれた。	148,000	助成金の活用により、事業の円滑な運営と参加者の広がり、また、近隣福祉機関との連携を図ることができました。 とりわけ新規事業のケアラーズカフェにおいては、中野ボランティアセンターの広報誌に取り上げていただいたことと相まって、順調なスタートを切ることができました。 ベビーカフェともども、地域に根差した居場所として定着してきたと考えております。区民の皆さまの募金に心より感謝申し上げます。
		ベビーcafé　ほっこり亭	今年度においては、経済的な課題を抱える親子、夫婦間・義母感で関係性が悪い母親等、孤立の中で虐待につながりかねない利用者が複数組いた。ベビーcafé以外の事業にも参加するよう促し、できるだけ、相談の機会を増やし、関係機関につなげた例がある。	192,000	
14	ドロップインほっとほっと	はじめてのバスハイク	・なかなか電車では遠出しにくかったので、とても嬉しかった。 ・乗り換えが無く、車中も楽しみながら移動できた。 ・子どもが社内でぐずってもお互いさまで気が楽だった。 ・親子ともにリフレッシュできた。 ・同じ境遇のママと仲良くなれてとても楽しかった。 ・不安が安心に変わった。 といった参加者の声が聞けた。	99,000	親子のありがとうの声を皆様にお届けします。 ・幸せのリフレッシュ時間でした。・貴重な機会をありがとう ・楽しい体験！・楽しい1日が過ごせた ・安心して参加できて楽しめた 企画ができたのも助成金があったから…と心から感謝しています。
15	カタル―べの会	ひきこもり当事者・家族・生きづらさを抱えている方のための居場所	カタル―べの会の活動に参加され、孤立している方、ひきこもり状態の方が社会とつながるきっかけとなり、月一回の定例会やイベントを楽しみに参加できるようになった方、定例会に参加して久しぶりに他人と会話したと話される方もいらっしゃいます。	23,496	皆様のお陰で、講演会。居場所活動を計画通り実施することができました。 講演会には、多くの方の参加があり、「生きづらさ」について、講義やワークショップで意見を交換し、居場所の参考となるアドバイスを得る事ができました。 居場所事業では、新たなイベントで、より多くの参加者に活動を知っていただけました。
		ひきこもり当事者・家族・生きづらさを抱えている方のための理解促進	講演会に参加した方が、カタル―べの会の定例会に参加して下さいました。	35,000	

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

16	こどもアートつなぐ会　にじいろ	にじいろアートプロジェクトーつながる色・つながる心ー	8回の展示ワークショップはそれぞれ地域の施設、カフェギャラリーで行ったおかげで、それぞれの場所で違う年代の親子に参加してもらえた。中学生、小学生、幼児が共に作業したり、親世代が若者と地域について話す場面もあった。赤ちゃん連れの母親からは「大人と話せてうれしい」との感想。20代絵をかくのが好きな男性が絵を見せに来てくれた。	200,000	助成金のおかげで、地域の多くの場所でのアート作品の制作・展示が実現しました。費用（画材・場所代など）を助成金に助けていただいたおかげでのびのびとこどもも大人もアート表現ができ、大がかりなワークショップを行えたため、多くの親子や地域の方に「こんなに楽しくてワクワクする体験はなかなかできない」と喜ばれました。本当にありがとうございました。
17	東京・不登校＆多様な学びを考える親の会	東京・不登校多様な学びを考える親の会	全参加者152名中、区内在住は35名（23%）でした。区内の掲示板に提出することで、不登校の子を持つ親だけでなく、隣に住むいとこの不登校に悩むおばのかわりに来たといった方もいらっしゃった。	15,000	年間152名、内区民の方は延べ35名ご参加いただきました。 多くの方が、区民の広場に掲示したチラシを見てきてくださいました。 こうした毎月の定例会の開催チラシや資料の印刷をすることができ、親同士が話し合い思いを共有し、不登校状態にある子どもの気持ちを考え合うことができました。 ありがとうございました。
18	中野区重症心身障害児（者）を守る会	孤立を防ぐつながりづくり事業 （専門家とのつながりによる介助者である親の子育てへの不安解消）	参加した保護者からは、「同じ立場の人の話を聞き、自分だけが悩んでいるわけではないと感じられた」「普段は中々わかってもらいにくい悩みだったが、似た境遇の方も参加していたため、安心して話すことができ、気持ちが少し軽くなった」といった声が聞かれました。 また、介護による身体的負担を感じていた保護者が、専門家から介助時の姿勢や身体の使い方について助言を受け、「少し身体が楽に感じられた場面があった」「すぐに大きな変化があるわけではないが、日常の中で取り入れてみようと思えた」と話す場面もありました。 簡単な体操をその場で実施していただきましたが、「皆で行うと楽しい」「すぐに効果が出た」「身体が凝っていたことに今気づいた」など、笑い合いながらの会話がうまれました。 座談会終了後には、「また機会があれば参加したい」「他の人の話を聞けて参考になった」といった感想も聞かれ、参加者が安心して気持ちを共有できる場として機能していた様子がうかがえた。	25,000	皆様からの真心により医療的ケア児や重症心身障害児者について地域への理解啓発に役立てることができました。 誠にありがとうございます。 肢体重症心身障害児者は中野区で約80名（当会会員は20名）。未就学時は主に発達センターへの通院。 学齢期は杉並区の都立学校へ通学。 18歳以降の約60名（区分5・6）は中野区内の生活介護事業所に通所しています。 今後も障害当事者と家族が住み慣れた中野区で安心して過ごしていけるよう活動して参ります。
		孤立を防ぐための活動（重度肢体心身障害児者を知ってもらうための啓発事業）	社労士・司法書士の専門家による、障害児者のためのお金についての勉強会を開催しました。 会として実施担当者を決めず、計画を立ててしまっていたので、手配不足で年度末3月開催が直前となり、当初予定していたよりも効率よく周知をする時間的余裕がなかったことが次年度への課題となります。 そのなかで社協HP「イベント情報」への掲載もご対応いただきました。 ①情報を知るニーズは高いが、重症心身障害児者に特化した専門家は少ないため、真に必要な方には深く学びになったこと、②障害者を育てる親の立場での生涯獲得年金等のシミュレーションができたこと、③障害のある子どもが今後歳を取る中で、どのぐらいのお金が必要であるか、現実的な経費についてもしることができたのは収穫です。会員以外の参加者は1名でしたが、多忙な訪問介護ステーション管理者の方にご参加いただけたことは、オンラインハイブリッドで開催をしたことの成果でした。	37,000	
19	ぶらんけっと	ほんごcafé	ほんごcaféは、こどもから高齢者まで多世代が気軽に立ち寄れる場として開催し、地域住民同士のゆるやかな交流の機会を一定程度創出することができた。特に子育て世帯の参加が多く、親子の居場所や地域とのつながりづくりに寄与し、孤独孤立の予防の一助をなった。一方で、参加者が子育て層に偏る傾向があり、若者や高齢者の参加促進については今後の課題である。	200,000	本助成により商店街内コミュニティスペースでの「文字のない絵本カフェ」、区立公園での「ほんごcafé」を継続して実施することができました。 多世代が気軽に立ち寄る場の中で、家に誰もいないと話していた小学生が「ここはくつろげる」と安心して過ごす様子や保護者同士が交流する姿が見られ、地域の居場所の必要性を実感しております。 皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。
		ぶらんけっとの文字のない絵本カフェ	家に誰もいないと話していた小学生が「ここはくつろげる」と言いながらお菓子を食べつつ、安心して過ごす様子が見られ、居場所としての役割を実感しました。また、保育園帰りの保護者同士が絵本の話題から子どもの様子や日々の悩みを語り合うなど、自然な交流が生まれる場にもなりました。	200,000	
20	Nakano　Clover	交流会	参加しやすい環境づくりのため、ボランティアの方々にも協力していただき、子どもの見守り等のサポートを行いました。普段は外出が難しい家庭からも「久しぶりに親子で楽しめた」「同じ多胎児家庭と話せて安心した」といった声があり、交流とリフレッシュの場として有意義な時間となりました。	200,000	このたびは、私たちの活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。 皆様からの募金により、双子・三つ子家庭の親子交流会を開催することができました。多胎児育児は喜びが大きい一方で、同時に複数の子どもを育てる大変さもあり、保護者が孤立しやすい面があります。 交流会では、同じ立場の保護者同士が悩みや工夫を共有し、安心して子育てについて話せる時間になりました。 今後も地域もつながりを大切に活動してまいります。 皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

21	オアシスなべよこ	高齢者の孤独、孤立解決に向けた活動を知ってもらうためのきっかけ作り（クリスマス会とオアシス通信発行）	クリスマス飾りをした会場で、落語家さん（昔昔亭 昇さん）を招いて落語を聞いて皆で大笑い。和やかな会場の雰囲気の中、最後にグループごとにビンゴをしたり、サンタクロースからプレゼントを貰ったり、季節を感じ、楽しく会話をすることができました。また、オアシス通信を発行することでクリスマス会やミニデイの実施日を知らせることができ、参加のきっかけとなっています。	95,000	毎月第三木曜日に「高齢者ミニデイ」を開催し、地域の高齢者が20名位参加しています。 外に出かけたり、他人と話をする場として、参加者に喜ばれています。 また、認知症と共に生きる社会を考える機会として、「オレンジランプ」の映画界を実施しました。 このような事業ができるのも皆様の心遣いのおかげと感謝しています。
		人や地域とのつながりを目的に理解者を増やすための映画会	映画会終了後、鑑賞された方にアンケートを実施。認知症に対する考え方が変わった、自分の親の認知症に対しての対応の仕方の勉強になった、認知症が怖くなくなったなど、認知症と共に生きる社会作りを考える機会となった。	58,000	
22	中野まちのエンガワ・プロジェクト	まちのエンガワ	シェアカフェ同士の連携もあって、毎月定期的に開催されているので、高齢の一人暮らしの男性や、保育園に通っている親子が参加してくれ、要望に応じてWSなど開催	100,000	私たちは、地域のイベントの開催を、その場限りのイベントとせず、地域づくりの大切なきっかけにしていきたいと考えています。 「祭の準備は楽しい！」を合言葉に、準備段階での試行や下ごしらえを、普段は地域に直接関わりのない方々にも手伝っていただきながら、地域活動へとつなげる取り組みを進めることができました。 ありがとうございました。
23	ito-いと-	フリースペース	不登校初期での相談も増え、親子ともに安心して過ごせる場の中で共に考える場を提供できた。保護者の方には書籍や講演会の情報、日々の子どもの状態の変化について、丁寧に相談にのることもできた。親子共に学校に行かないことによる、過度な不安や恐怖から解放され、元気になっていく姿は感慨深かったです。学校には行っているけど、たまに息抜きに来る親子、元気を取り戻し学校に戻る子もいれば、本当に様々な形があることを実感しました。	135,000	この度はご寄付をありがとうございました。 学校に行きづらい親子の居場所を作ることができました。 また不登校やひきこもりの専門家の方を講師にお呼びして、学び合う場を作ることができました。 不登校やひきこもりで悩む多くの親御さんから感謝の言葉をもらいました。 居場所にきて、安心して過ごす中で元気を取り戻していく子どもたちもたくさんいました。 本当にありがとうございました。
		つながるいと	子どもが学校に行かなくなることで、親子ともに悩みや苦しみの深さを実感した。各家庭、育った環境も違えば、経験してきたことも違う中での難しさを感じた。様々な講師の方や参加者同士の交流の場を作れたことはとても意義が大きかった。親御さんは自身の子育てを責め、子どもは学校に行けない、自分自身を責め続けている。ゲスト講師の方の話や交流の場を通して、個人の問題という視点から、社会や学校の在り方についての視点もあることを共有し、考え学び合う場を提供できた。	135,000	
24	中野傾聴ボランティアきくぞう	傾聴事業	①傾聴に来られた方から「きくぞうで話を聴いてもらって気持ちが楽になった」という声が届く。 ②繰り返し傾聴してゆく中で「家族の方が明るくなったご本人に気づかれ、その後ご夫婦で傾聴に来られた」という事例もあります。 このような声が入る事がスタッフの“やりがい”につながっています。	60,000	地域の中で悩みをかかえている方々の心に寄り添いたいと傾聴活動を行っています。 来られた方の中からは「気持ちがすっきりした」と感謝の声が届くことがあります。 また、留学生の若い方々のお話を聴かせて頂く機会もあります。 このようなみなさんの声を受け止め隣人として寄り添う活動を続けてゆきたいと思っています。 そのために助成金を有効に使わせて頂きます。
25	NPO法人リトルポケット	大さんといっしょにおどろう♪ダンスワークショップ	10代から80代まで障害も世代も超えて2時間のダンスワークショップを楽しむことができた。プロのダンサー、アシスタントの講師が声かけ優しく、居心地よかった。	130,000	3/29(日)35名の方々で言語以外の身体コミュニケーションの場を2時間楽しみました。 参加者より「飛んでいるみたい」「ペアで踊る方の笑顔を見れてうれしかった」など素敵な感想をいただきました！！ 助成金ありがとうございました。
26	東部あいあいステーション	東部あいあいステーション	玄関の電球交換、冬布団を天袋にしまってほしい、本箱の棚板を1段下げてほしい、時計の電池交換など当日対応。 腰を資源ごみ集積場に運んでほしい、期日前投票の付き添い、白内障の手術時の付き添いなど指定日に対応。 庭の木になる伊予柑を高枝切ばさみで取ってほしいなど対応できないものはシルバー人材センターや社協を紹介など	60,000	東部あいあいステーションは、区民の皆さまからの募金によるご支援をいただき、今年度も無事に活動を継続できました。 電話の件数は前年度より増えております。 困りごとに直面した時は、アイアイステーションを思い出す、そのような頼りになる存在でありたいと常に考えております。 今後も、地域のつながりを大切に、スタッフ一同、研修を重ね真摯に活動に取り組みます。

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

27	ぷらいまりぃ中野	重度肢体不自由児者のための音楽療法	帝京平成大学の先生や学生、会員以外の方の参加があり、さまざまな障害がありながらも音楽を楽しむ様子を見てもらうことが出来た。しかしながら安定して会場確保することができず、日程調整に苦労した。会場のピアノの位置や音の問題があり、ゲスト演奏者なぢのミニコンサートになってしまったのは残念だった。	60,000	今年度も楽しく活動できました。 残念ながら、会場の事情等でミニコンサートになってしまいましたが、久しぶりに親子での楽器演奏に取り組み、発表できました。 来年度はもっと多くの方に参加いただけるよう、工夫します。皆様のご協力に感謝いたします。
28	たんぽぽ会	こころの病のある方の家族セミナー ～地域で安心して暮らすために～	①当事者、家族のほか、区民で当事者の身近にいる人、又お世話している人の参加が数名いました。精神科の医師に診察の時には聞けないこと、患者、家族側としての質問が多く時間が足りないくらいでした。 ②災害時の障害者として生き抜いていくための心構え、普段からのご近所付き合い、自助、共助、公助が大事。防災会には障害者の声は出てないとのこと。当事者も人任せにしないでできることはやり、いざという時のため声を上げていかなければならないと思いました。	60,000	「歳末たすけあい運動゛地域活動いきいき募金゛」助成金をいただきまして、誠にありがとうございます。 誰もがかかる可能性のある病、それが心の病気です。 令和6年度の概要で、区民約33万人中、自立支援（通院医療助成）利用者約7,400人、前年度より約400人増えています。 ご町内、ご近所、親戚の中にいると思います。普段の診察では聞けない精神科の先生のお話、いつ起こるかわからない大災害から身を守るための対策など防災士さんから普段の生活から減災を学びました。 チラシも。地域活動センター、区報、つくし会だよりに掲載させていただきました。 自助、共助、公助とありますが普段からの地域、町内会、自治会とのお付き合いも大事、気楽に病気の事話せるようになるといいと思います。 当事者も家族も地域の中で安心して暮らして行きたいです。
29	中野の図書館とあゆむ会	本の交換会	ある一人暮らしの高齢者が、本の処分ができずに本に埋もれ寝る場所もないほどだった。しかし「本の交換会」をきっかけにして、民生委員や当会支援者の協力で片づけることができ、1月の交換会にたくさんの絵本の提供があった。また、交換会が終わってから南部地域の方から「本がたくさんあるのでm取りに来てほしい」という連絡をいただいたりもしている。	200,000	助成金により「本の交換会」のチラシをカラー印刷し、それを新聞折り込みできるようになりました。 おかげで徐々に多くの人に知られるようになり、大変感謝しています。 参加者の方からは「よいイベントなので続けてほしい」「本を捨てるのは忍びないので有難い」などの感想をいただいています。 交換会を通して地域の人との交流とリサイクルの輪が益々広がることを願って活動を続けたいと思います。
30	こころのサポートぴよぽこ中野	出産にともなう傷ついた母親のこころのサポート	今までに比べ、ご夫婦で参加してくださった方が多くなったことや、お子様とのお別れした月に日常では話しができないお子様の事を思い出し、話しをしたいと昨年に引き続き1年ぶりに来てくださった方などがいらっしゃった事は、継続して開催しているという事の意味を感じました。	144,000	私たちは、流産・死産・新生児死・人工死産経験者が安心・安全に話しをできる場所を開催しています。 お陰様で、助成金をいただき、今年度も年12回開催し、必要な方に繋がることができました。ありがとうございました。
31	中野区障和会	器楽によるリハビリ活動	講師の派遣元の“東京ミュージックボランティア協会”が主催する、福祉団体が集まる“みんなの音楽祭”等での外部主演を目標にしたが、今回は会場の都合（感染症対策）等で中止となり、中野区障害者福祉会館で10月に開催された“会館祭り”にも出演できなかった”	60,000	中野ひとつなぎ助成により、脳内出血により運動機能の障害のある人が音楽を通したリハビリ活動のために講師を依頼し、又、楽器も購入することができました。 ささやかな活動ではありますが見守ってくださる方がおられるということを心の糧として頑張っていきます
32	特定非営利活動法人 女性のスペース結（中野事務所）	中野みんなのスペースlrys	中野ダイバーシティフェスタでは、訪れた方との会話や所蔵本紹介を通して、lrysの活動や性的マイノリティーについて知ってもらうことができた。居場所では、おしゃべりやイベントを通して、性的マイノリティーやそうかもしれないと感じている若者に安心できる場を支援できた。	53,000	女性のスペース結です。 区民のみなさまの募金により、抹茶カフェ事業では参加者さんが抹茶を飲みながらほっとする時間を持つことができました。 Lryd事業では、性的マイノリティーやそうかもしれない若者が居場所を持ち、安心して過ごすことができました。ありがとうございました。
		女性のスペース結　抹茶カフェ	あらゆる人を対象にしたことで、参加者が増えたことと声掛けもしやすくなった。講師から抹茶のたて方やセラピー効果を教えてもらったことで家でも自分でたててリラックスできたと喜ばれた。	135,000	
33	つくる・つながる会	アートワークショップ	昨年から引き続き参加してくれた方半数という結果になり、オンライン上での募金にも協力してくれた。このことは団体立ち上げ当初に「参加者が支援者としても関わってもらえるような活動にしたい」という目標に近づいたことも感じており、事業の実施目的である「アートを身近に感じる」ということも達成できたと感じている。	53,000	皆様からの募金のおかげで、「全身を使った絵の具遊び」という特別な体験を、1さい~6さいまでの子どもたちとその家族の方々に楽しんでいただくことができました。 また、昨年度は絵の具に触れることもできなかった発達に特性のあるあるお子さんが、今年度は笑顔で全身カラフルになっている様子も見れ、繰り返し開催することで地域の子どもたちの成長を見守ることができる喜びを感じることもできました。 ありがとうございました。
		地域交流のためのアトリエ	大学生がボランティアスタッフとして参加してくれた。初めて参加してくれたシングルマザーの方が、同じくシングルマザーの方と交流をもってくれ、その後も繰り返し参加してくれた。「お父さん座談会」に参加してくれた方が父親としての悩みを男性スタッフに相談してくれた。物品の寄付や募金をしてくれる方や片付けなどを積極的に手伝ってくれるような方が増えてきた。	116,000	皆様からの募金のおかげで「南部・子育て井戸端会議」という企画を実施することができ、児童委員、民生委員、主任児童委員、弥生地域で長く活動をされている「弥生ボランティアコーナー」の皆さんと交流を深めることができました。 このことは、私たちの活動テーマである、「アートで繋がる地域交流」を実現する第一歩になったとかんじています。ありがとうございました。

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

34	はじめての習い事あんじゅば	ベビーマッサージ＆リトミック	療育に通っていたり、元気すぎる子達、赤ちゃんだから周りに迷惑をかけないか心配でというご家族が参加してくれました。最初は走り回っていた子達も参加者のメンバーが変わったり、回数を重ねることで集中して取り組み時間も少しずつ増えてきています。	200,000	皆様いつも温かいご支援をありがとうございます。 この助成金をいただいたことで、活発すぎて周りに迷惑をかけているのではないかと、習い事に通わせるのを躊躇してしまうご家族の安心の場を提供することができました。 今年度は、ベビーマッサージやリトミック、英語などのレッスンを行いました。 親子で楽しく参加し、そしてカメラマンによる活動中の写真撮影などもあり、未就学児の大切な親子の時間を思い出として残すお手伝いも出来、大変喜ばれております。 皆様のご支援に感謝いたします。
35	にじいろでんでんむし	ダウン症児者等の親子リトミックレッスン	「入学に向けて相談がある」「病院について聞きたい事があって」「〇〇君と遊びたいと言うので」等、「ここに来ると誰かに会えるから」という声が増えたように感じます。特に相談事がなくても、レッスンを通して先生の視点からお子さんの成長に関する会話に発展したり、参加費がおさえられている事で「近くに用事があったから」等、気軽に参加できるようになった事も、良い場を作る大切な要素になっていると思います。	99,000	今年もおかげさまで、子ども達が様々な経験を積むことができました。 「いつもあるあの場所」というイメージが定着して来て、久しぶりの方でも参加しやすくなっているようです。また、障害児本人だけでなく、きょうだいがこの日を楽しみにしているというご家庭もあり、障害のある無しにかかわらず受け入れられる場にもなってきました。 今後の方向性や新しい取り組みに向けて試行錯誤する機会にも恵まれ、継続できることの有難さ、大切さを強く感じた1年でした。 ありがとうございました。
36	子ども広場〈どんぐり〉	おにぎり作ろう♪	回を重ねるごとにリピーターが増えて、長期休業中の小学生のお昼の場として認知されてきていると思います。と同時に地域のボランティアとのつながりも含め、人がつながる場、新たな人材発掘の場にもなってきていると感じます。	88,605	長い夏休みの間に地域の3つの小学校で子どもの昼食としておにぎりを提供、そして日本ならではの季節の食文化を意識した食のイベントを地元のボランティアにも応援をいただき実施できました。保護者の方には毎日のお昼づくりの息抜きとして、子どもたちは楽しくお腹いっぱい食べ、喜んでもらえました。ありがとうございました！
		季節を感じる食のイベント	開催回数は4回となったが、新井地区だけでなく桃園地区でも地域の協力を得て実施することができた。	61,449	
37	オレンジカフェ　とんぼ	オレンジカフェ　とんぼ	・独居の方にいつも「ここに来ると話もできるし、こんなに笑うことは普段家にいると一人だからない」とおっしゃっていただいています。その中の1人の方がお化粧までして用意しているけど家の前の階段が怖くて迷っているとの電話があり、スタッフ2人で送迎しました。帰るときには「来て本当に良かった」と明るい笑顔を見せてくださいました。 ・介護で疲れ気味の方はハンドマッサージの時によく来られます。皆様リラックスして気持ちを切り替えることができるようでした。	80,000	週に一回カフェを開催し、高齢者の方、軽度認知障害の方、地域の方が一緒に体を動かしたり、音楽を楽しんだり、また悩みを相談したりできる場所を作ることができました。 独居の高齢の方が多く、「一人で家では声を出すこともないが、ここに来ると声を出して笑うことができる」と喜んでくださっています。 今後も年齢を重ねても来続けることができる居場所をつくっていきたいと思います。 ありがとうございました。
38	オレンジカフェさぎのみや	オレンジカフェさぎのみやの開催運営	当オレンジカフェは、社会福祉士や地元の地域包括支援センター職員等の専門家の参加を得て、講演会や参加者からの相談などを受けている。過日、参加者から、「主人の医療用ベッドを購入を検討する際、カフェで知り合った包括支援センターの職員の方に大変親切に相談に乗ってもらった。」と感謝の言葉があった。	200,000	オレンジカフェさぎのみやは、毎月1回、地元の高齢者30数人が集い交流しています。 カフェでは、認知症予防の専門家を招待し講演会を開いたり、各種相談を受けています。 また、ピアノ観賞、体操、合唱、折紙などをして楽しんでいます。 これからの開催・運営については助成金を使わせて頂き参加者の知識の向上や交流に大いに役立っています。 また、参加者の絆を深め開催の周知のための「たより」の発行や開催連絡のチラシ作成費に助成金を使わせて頂いています。 多くの参加者から、オレンジカフェの参加を楽しみにしているとの声があります。
39	チャイルドライン中野子ども電話	「語り場」で語ろう	素敵なチラシができ、関係者に届けると、「いろんな経験ができるわね」と言われたこと。	78,538	毎年有難うございます。 チャイルドラインとしての経験を生かし新たに「語り場」で語ろう事業に取り組みを始めました。 不登校の子どもの”居場所”として使ってもらおうと思います。

②なかのひとつなぎ活動助成　助成団体一覧

40	おやぎょう「虹のかけ橋」	ことば♡カフェ・不登校カフェ	・初めて参加された方が16名。きっかけは「知人から聞いて」「チラシを見て」が多く、感想は「満足」「とても満足」。 ・会場の「エカイエ」を知ってもらう機会にもなり、別のワークやカフェにつながった方もおられます。	72,000	心の通い合う「ことば」についてゆる～く考える会です。 テーマについて率直な思いを聞いたり話したりしながら、心理学を基にした「言葉かけのコツ」もお伝えします。 「自己肯定感を少しづつ育む」「不登校に向き合う」などが好評のテーマです。 地域の方々が、気軽に参加できる場を継続できることを、心より感謝申し上げます。
41	がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ	がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ	「患者様やご家族の気持ちを知りたい」と医療従事者や介護職の方が参加してくださった。	38,000	共同募金へ募金をありがとうございます。 2人に1人は「がん」になると言われるほど「がん」はポピュラーな病気になり、研究も進んでいます。 しかし、いざ告知されると生活が一変することも事実です。 患者本人も、支えるご家族もとても悩みます。 そんな方々が、話すことで、ほんの一時ホッとしていただけたらと願っています。
42	NPO法人　HATI　JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援	「ごみ出しからはじまる地域のつながりづくり」モデル事業	子どもをメインターゲットにゲームを中心としたイベントとしたため、家族を含む多数の参加を得た。中野区ごみゼロ推進課、鷺宮三丁目町会、中野社協の協力を得、ごみ分別クイズ、「歩くごみのん」でのごみ分別、ペーパークラフト、清掃員なりきり写真コーナー等を楽しく盛り上げることができ、子ども達の笑い声が絶えなかった。特に地域の子どもとごみゼロ推進課職員がなりきって公演したオリジナル紙芝居「環境戦隊　ナカノンジャー2026は大好評だった。	35,027	皆様の温かいご支援により、多様な背景を持つ子どもたちの居場所学習支援「いんくるスペース」、地域の子どもとつながるボランティアのための市民講座「つながるマナビバ」、楽しくゴミ分別ルールを学びながら交流する「つながる！ごみフェスタ」を開催することができました。 皆様の善意は、外国ルーツの方々をはじめ、さまざまな人々とつなぐ架け橋です。誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、今後もご支援をお願い致します。
		「いんくるスペース」：学びと対話でつながる地域づくり	今年度より新たな試みとして開始した「つながる！マナビバ」を通して、新たに1名のHATI協働スタッフを獲得。ボランティア関心者を活動者へとつなげる仕組みが期待通りに機能した。いんくるスペースでは継続して質を意識した「居場所」活動を継続する中で、今年日本へ移り住んできたばかりの、周囲とうまく話せない小学6年女児が、徐々にスタッフに心を開き、生活の中で言語を覚え、最終的には「居場所」においてスタッフとの会話や笑顔が多くみられるようになるという変化を支援することができた。	200,000	
43	NPO法人リトルポケット あとりえふぁんとむ	みんなでつながろう音楽の輪	高齢者、子育て世代、児童、障害者など音楽を通じて楽しく時間を共有し、交流することができた。	100,000	皆様のおかげで乳幼児から高齢者までみんなが楽しめる素敵なソプラノコンサートを開催することができました。 参加者からも「間近で生の演奏、歌を聞くことができて良かった」「赤ちゃんからお年寄りまでみんながホッとする会だったと思います」といった声をいただきました。 ありがとうございました。
44	旅するカフェ	一緒に楽しむ歴史講座	・講座で学んだ事がバスの移動教室でリンクして、具体的になった。 ・食事を交えて和気あいあいで皆と親しくなれた、顔なじみが増えた（交流の場になった）。 ・杖をついていても楽に参加できた。	151,000	参加した皆さまに好評いただきました。 これも助成金あっての事です。ありがとうございました。 実行するにあたり、参加の負担が少なく声かけできるのは主催者側にとってうれしいことですし、参加者側も同様です。 感謝。